

文法化した「たいと思います」に関する分析

ー「たいと思う」の対話上の機能の観点からー

治田 芽生 (北海道大学大学院)

背景 | 「たいと思う」の文的多機能性

「会議を始めたいと思います。」のような「たいと思う」の使用
→話し手の願望・主張を緩和する表現とされてきた

願望 (プロトタイプの意味)
～実行表明 (周縁的機能)
連続的な拡張があるのでは？

分析 | 発話時点と行為成立時点との時間的關係 / 願望表現との置き換え

例文は全て国立国語研究所『日本語話し言葉コーパス (CSJ)』より (講演ID)

行為成立時点

発話時点

- (1) 一定した傾向が見られませんでした。結果に移りたいと思います。エーグラフのこの左側の部分は… (A01F0085)
- (2) ここから解釈できるという風に考えられます。えっと以上で発表終わりたいと思います。 (A01F0306)

行為成立時点

発話直後

- (3) まず最初に本日の発表内容について順番に述べていきたくたいと思います。まず最初に本研究の背景、次に今回提案いたしますマルチフォームユニットとはどういう… (A01M008)
- (4) 次にえー文章のマクロ構造分析に関する先行研究を概観しておきたいと思いたいます。えー代表的な先行研究といたしましては、え市川千九百七十八、こちらで… (A02F0082)

行為成立時点

発話と
同じ場の中
(近い)

- (5) そしてえ実験結果を挙げて考察し最後にまとめたいと思いたいます。まず背景ですが、えー近年書きこ書き言葉のテキスト処理はかなり高精度にできるよう… (A03M0177)
- (6) 譲歩文をめぐる推論について考えるという立場から今日はお話ししたいと思いたいます。えまずまロジカルな推論の場合を一応見ておきます。 (A03F0412)

行為成立時点

発話の場以降の
いつか
(遠い、未定)

- (7) まもっという結果が出ればまた別の機会に発表したいと思いたいます。以上です。 (A03M0238)
- (8) 動詞のて形プラスあるという形式についても考察を深めていきたくたいと思いたいます。以上で発表を終わらせていただきます。 (A03F0412)

「たいと思いたいます」に置き換え可能
「たいです」に置き換え可能

提案 | 文法化した「たいと思います」の特徴

- 【語形変化の喪失】
「たいと思います」以外の語形にできない
- 【意味の漂白】
話し手の願望の意味を表さない
- 【使用場面の制限】
 - ・スピーチ、発表等の社会的・公的場面
 - ・話し手が事態を進行する権限をもつ

⇒「たいと思いたいます」の形で文法化

- ・実行表明として機能している
- ・願望の表現によって権限の誇示を抑える (山岡2011)

考察 | なぜ「たいと思いたいます」で文法化するか

- ・願望表出「たい」の丁寧表現の欠如を補う
「たいです」の代わりに「たいと思いたう」 (湯本2004)
 - 「と思いたう」のプロトタイプの機能
“唯一の判断ではない可能性を示す” (湯本 2004)
→丁寧・緩和表現として働く
- ・社会的・公的場面では、より顕著に固定化
⇒実行表明の「たいと思いたいます」として文法化

主要参考文献

- 1) 森山卓郎 (1992) 「文末思考動詞「思う」をめぐって」『日本語学』11(9), pp.105-106, 明治書院
- 2) 湯本久美子 (2004) 『日英語認知モダリティ論ー連続性の視座』くろしお出版
- 3) 山岡政紀 (2011) 「「と思いたう」構文の発話機能に関する対照研究」『日本語コミュニケーション研究論集』1, pp.93-102, 日本語コミュニケーション研究会